

【チーム内にてコロナ陽性選手が発生した際の試合参加基準を以下の通りとする】

- 1 大学(部長およびクラブを管理する部署の責任者)の許可を得ていること。
  - 2 陽性の選手および濃厚接触者を除くこと。
  - 3 試合当日、咽頭痛・倦怠感・発熱などの自覚症状が無いことをチーム責任者の対面により確認できた選手が6人以上いること。(競技要項の GK1 人・スケーター5 人に準ずる)
  - 4 試合当日、抗原簡易キット(体外診断用医薬品の表示があるもの)などによる検査を全選手が実施し、陰性の選手のみ参加すること。
- 以上の要件全てを満たしている場合、試合参加を許可する。**

【濃厚接触者については下記の通りとする】

\* 日常から不織布マスクを着用すること

濃厚接触者とは、「感染された方と強い接触を持ち、今後発症する可能性が高い方」です。

具体的には「**感染可能期間(発症 2 日前～療養終了日)**」に次に該当された方にあたります。

- ①マスクをしないで1メートル以内の距離で15分以上、新型コロナ感染者と対面していた場合
- ②新型コロナ感染者と同居している場合
- ③新型コロナ感染者と車内や航空機などで長時間接触していた場合
- ④新型コロナ感染者のツバやくしゃみ、それらを含むものに触れた場合となります。特に同居している家族は、基本的に濃厚接触者に該当するということになりますので合宿所や部車による移動の場合は注意が必要です。

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
						
 吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50%	80%	90%
 吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65%	60-70%	小さな飛沫に対しては効果なし(エアロゾルは防げない)	

<濃厚接触者に該当する例>

- A. マスクなしの状態での密な会議・授業が行われていた場合
- B. マスクなしで15分以上、近い距離で食事をしていた場合
- C. 感染された方と接触したり体液が付着する状況にあった場合なども「濃厚接触」にあたります。

当連盟では試合および練習は「C」に該当すると考え、対戦チームから陽性の選手が発生した場合、両チームの選手全員(オールメンバー表に記載のある選手全て)が濃厚接触者となります。

陽性者の最終接触日を0日として5日間は、不要不急の外出を控える必要があるため、この期間、濃厚接触者の練習および試合参加は不可となります。競技の特性上、混乱を避けるため検査による短縮は適用しません。

### 陽性者の自宅療養の流れと濃厚接触者の自宅待機期間

